



## ■ビオトープ・サロン お便りコーナー ～里も山も、人も野生も、～

気になる話題をいただきました。人の暮らしも、野生生物の生息環境も課題は山積です。また、毎年のように甚大な災害が絶えません。様々な人間活動としての社会システムの変化に地球生態系が対応して、自然のシステムを変化させる、そのプロセスの中に気候変動、異常気象、天災があるように思えてきました。災いとは人間側の都合であって、自然のシステムの中でのそれは、**安定への修復のメカニズム**に過ぎないものであり、氾濫や崩壊の後、**次の修復までは安定期**となるはずで、これを繰り返してきたのでしょうか。自然環境の変化に加え、社会環境も大きく変化しています。「**人口増加から人口減少へ**」「**都市の拡大から都市の縮小へ**」そして、都市も農村も、空き家対策、移住促進に躍起になっています。でも、「日本の人口は確実に減少している」ということですから、成功した都市があれば、どこかの集落が消えているかもしれません。小手先の解決策ではなく、**土地の利用の仕方と暮らし方**を根本的に見直すことが求められているような気がします。私たち自身が考え、如何に行動するかを決めなければなりません。（編集局）

### 【過疎化、人口流出、荒廃地の進行と拡大 I Hさん：福岡】170417

ビオトープ・ニュース発行 100号達成 おめでとうございます。思い返せば、70号から送信を頂き、時には意見し回答を掲載して頂きました。

第70号のニュースでは、徳島県名東郡佐那河内村の過疎化に対し、民家再生と耕作放棄地の復元に向けての情報が掲載されていました。

里山の生態系の復元、林地・農地の保全と復元、グリーンツーリズムの構築、管理運営体制の構築、4つのキーワードを示され、あれから2年と半年が経ち新たな課題が生まれているのではないのでしょうか。私の推測が間違っていることを望みますが、更に過疎化、人口流出、荒廃地の進行と拡大などが問題になっているのではないかと懸念いたします。（紹介したのは個人の活動でしたが、自治体の施策も推進されています。ただ、問題解決は容易ではないと思います。…この問題の根っ子は「人がそこに住む理由」にあると私は思っています。）

最近、当社で道路（バイパス化によって地元自治体へ移管される道路）の計画に関わっていますが、移管する道路を美装化、コミュニティ道路化するなど、街の活性化に向けた住民参加による基本計画策定に関わっていますが、WSの中に関わって頂いている先生から、基本的に廃線的になった道路と沿道は、新規バイパスの沿道の街が活性化し、旧道が（商業的に）栄えるには無理がある。しかし現状で生活している住民は商業ベースではなく、生活環境・コミュニティの面からとても住みやすく、生涯の生活地としての不満を感じていない。では、この住民がもっと住みやすくなる道路を計画してはどうか？との投げかけがあり、住民・行政（県・市）も同意し、今からその道路のあり方について話し合うことになりました。（文面を見る限りでは必然の流れだと思います。ただ、商店はバイパス沿線への移転が完了していると推察。）

過疎地、限界集落で生活している方々も思いは同じように推測され、経済の豊かさとは異なる豊かさの発想をしていくことが現実的な場合もあると思います。

四国であれ九州であれ、限界集落の生活基盤を、「生活環境」の細分化により幸せ度を見出し、その住民の幸せ度のアップに向けた方針作成が今風になって行くような思いをしています。（「人がそこに住む理由」に尽きると思います。子育て世代、職種、価値観など、様々な要素で構成され、相利共生関係が成立しなければ継続は困難だと思います。…自給自足で満足なら、集落維持は無用だと思いますか？）

徳島県名東郡那河内村の現状はどのように変化しているのでしょうか？2年半では改善策の効果も見えにくいですが、わかる範囲で情報をいただくと良いのですが。（継続困難と聞いています。）

## ■ビオトープ・ナビ 雑学コーナー ～タヌキの疥癬症～



読者のKHさんから情報をいただきました。良い機会なので、対処等についての**HPからQ&Aを転載し紹介**します。（編集局）

### 【KHさん：ビオトープ管理士】170624

多分ですが疥癬症にかかったタヌキを見つけました。20年前はタヌキを見ることはなかったのですが。山からもらったのか、ペットからもらったのか、わかりませんがこうやって病気が広がるのですね。

吉野川市川島町です。ちょっと田舎です。山はすぐそこです。

**Q1. 疥癬タヌキを見つけたらどうしたらよいのか。**

タヌキを含む野生鳥獣を保護した場合には、まず各都道府県の野生動物担当部署に連絡して下さい。各自治体によって、その後の対応が異なる場合がありますが、一般的には指定の傷病野生鳥獣保護診療機関（動物園や動物病院など）に搬送することになります。埼玉県の場合は、環境管理事務所または自然環境課にお問い合わせください。

疥癬タヌキを発見した場合、行政機関の指示に従うのが第一ですが、保護する場合には、攻撃してきたり、（疥癬ダニは基本的には人に感染しないと言われてはいますが）一時的についたり、運んで飼育犬に感染させたり、また他の病原体に感染したりする可能性もありますので、皮手袋・段ボールなどの道具を用いて捕獲・搬送して下さい。

**Q2. 疥癬症がこれ以上蔓延しないようにするために、私たちにできることはないか。**

タヌキやキツネで発生している疥癬症がペット由来なのか、それとも元々自然界に分布していたのか、という議論があります。これまでに行われた研究結果からは、はっきりとした結論は出ていません。ただ言えることは、人間の自然破壊によってタヌキやキツネが生息場所を失った結果、生息密度が高まったり、ゴミや餌付けのために集合したりして接触機会が増して感染リスクが高まった状況があると考えられます。このことから、私たち人間が関わって、野生動物に感染症の発生リスクを高めてしまうことは避けなければなりません。

私たちにできることとして、

- 1) 野生動物のおかれている現状について広く普及啓発し、正しく理解すること。
  - 2) ペットを飼う飼い主のモラル向上（捨てない・逃がさない・放し飼いにしない）。
  - 3) 人と野生動物の適正な関わり（餌やりをしない、ペットとは異なり自分で生きられる動物であること）の理解。
  - 4) 身近な自然環境を保全する努力。
  - 5) 調査研究に基づく環境モニタリング。
- などが重要と考えます。

**Q3. 飼い猫が万が一外に出た際、感染してしまわないか。**

イヌの疥癬症を引き起こすのは、センコウヒゼンダニで、キツネやタヌキにも感染します。一方、ネコの疥癬症を引き起こすのは、ショウセンコウヒゼンダニで、アライグマやハクビシンで感染報告があります。飼い猫が野外でタヌキから疥癬ダニに感染する可能性は少ないと思います。しかし、他の感染症防御の観点に加え、他人や自然界への配慮からも、飼い主の責任として猫を屋外に放すべきではありません。

福井大祐（旭川市旭山動物園 獣医師）

**■ビオトープ・セミナー 資格試験に挑戦して基礎知識を修得しよう！**  
 ビオトープ管理士資格試験過去問題 出展：(財)日本生態系協会主催「ビオトープ管理士セミナー」のテキストより  
**無断転載禁止**：本紙は公益財団法人日本生態系協会の許可を得て転載しています。（編集局）

**【施工部門の記述問題：正答と解説は次号で紹介】**

**問 103**：工業団地造成の伐開除根作業に入ったところ、特定外来生物であるオオキンケイギクが、種子をつけた状態で広範囲にわたり存在していることが確認されました。工事計画では、地上部刈り取り後、深さ 10 cm で表土をすき取って篩分け、刈り取り物は現地で堆積して堆肥にし、篩い分けた表土とともに植栽地に使用、すき取り物は産廃処分の予定です。特定外来生物の発見により、工事においてどのような処置が必要となるか、400 字以内で述べなさい。

**■前号 102（計画部門の記述問題）解説**

クマタカが生息するエリア内で新しく道路を造る工事が始まる際の留意事項は、①クマタカが外部の刺激に影響されやすい時期（造巢期から放卵期を経て巢内育雛期 1～8 月）を考慮した工程計画であることが必要。②繁殖が確認されたならば、幼鳥が巣立つ 8 月頃までは発破や削岩などの大きな音の出る作業は行わない。また、重機や運搬車両を低騒音型にするなど、音を出さないようにする。③工事中におけるクマタカについての継続調査、工事監視が必要である。④作業現場の遮蔽と防音対策を目的に、工事現場を迷彩色などの目立たない色彩のシートで覆う。などがあげられます。

2級はどなたでも受験できます。四国の受験会場は徳島でしたが、徳島会場は 28 年度が最後かもしれません。**次年度の受験案内にご注意**ください。詳しくは、<http://www.ecosys.or.jp/>（公益財団法人 日本生態系協会HP）

**■編集後記**

ビオトープに関するお役立ち情報はもとより、皆様の生活や活動やお仕事等、日常を通じて見たり感じたりしたこと、身近な自然の春夏秋冬や喜怒哀楽のご寄稿をお待ちしております。ふるってご参加ください！ 編集局  
 【ご意見・お問い合わせは E-mail: [kanv@nifty.com](mailto:kanv@nifty.com) へ】 【バックナンバーは URL: <http://biotopetokushima.yu-yake.com> から】